

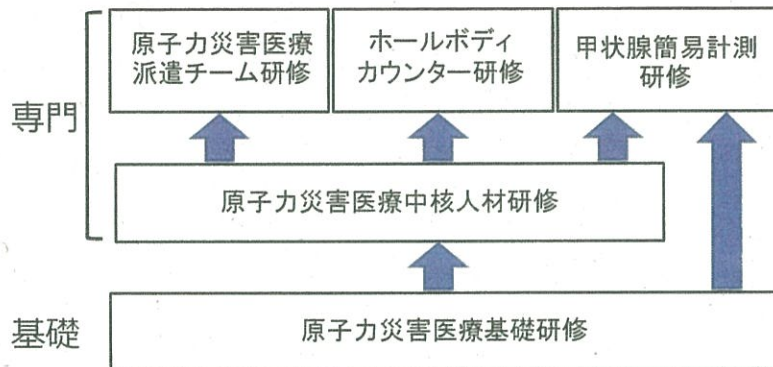
病 院 長 様

令和3年度 第1回 原子力災害医療基礎研修（量研）オンライン研修
開催の御案内

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の業務につきましては、日頃より格段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度より原子力災害医療に関する研修を基礎、専門、高度専門へとステップアップする研修体系が開始いたしました。本研修はその中の基礎研修として位置づけられる研修です。



原子力災害医療中核人材研修を受講予定の方を主な対象としてご案内させていただきます。つきましては、貴病院より、本研修受講者を御推薦賜りますようお願いいたします。

敬 具

【同封書類】

- 令和3年度 第1回 原子力災害医療基礎研修（量研）募集要項
- 入力操作の手引き
- 別紙 オンライン研修のご案内

【問い合わせ先】

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門
放射線医学研究所 被ばく医療部 被ばく医療研修課

Tel : 043 (379) 7808 (直通) Email : hibaku-training@qst.go.jp

【当機構 令和3年度研修開催予定】

原子力災害医療基礎研修（量研）オンライン研修

第1回 5月26日（水）（今回御案内）

次回 8月中下旬

原子力災害医療中核人材研修（量研）

第1回 令和3年6月8日（火）～6月10日（木）（申込終了）

第2回 令和3年6月29日（火）～7月1日（木）（5/11 申込終了）

第3回 令和3年9月14日（火）～9月16日（木）

第4回 令和3年10月19日（火）～10月21日（木）

第5回 令和3年11月16日（火）～11月18日（木）

ホールボディカウンター研修（量研）

第1回 令和3年8月12日（木）～8月13日（金）

第2回 令和3年10月14日（木）～10月15日（金）

甲状腺簡易計測研修（量研）

第1回 令和3年8月11日（水）

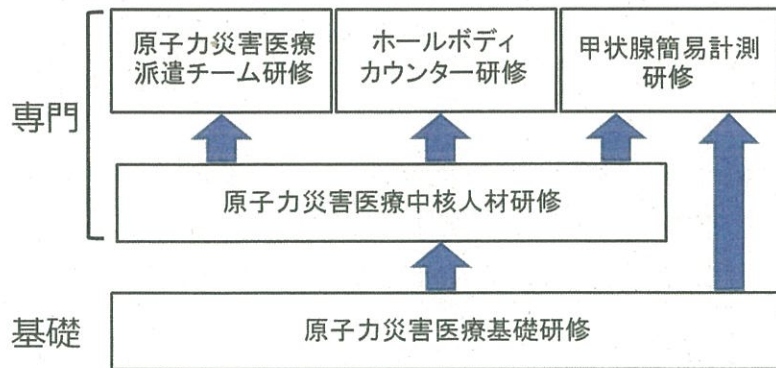
第2回 令和3年10月13日（水）

第3回 令和4年1月7日（金）

令和3年度 第1回 原子力災害医療基礎研修（量研）募集要項

本研修は、今年度より原子力災害医療に関する研修を基礎、専門、高度専門へとステップアップする研修体系の中の基礎研修として位置づけられる研修です。

今年度より専門研修を受講するには、基礎研修を修了していることが必要となります。（下図参照）



なお、本研修の実施にあたっては新型コロナウイルス感染症対策のためリアルタイムオンラインシステム(Webex meetings)を使って開催します。

1. 目的

原子力防災に関係する基礎知識、測定器の知識の習得。

2. 対象者

専門研修にステップアップする予定の原子力災害拠点病院およびその候補病院の医療従事者と高度被ばく医療支援センターの職員等。

3. 募集人数

最大 100 名程度。

4. 開催日時

令和3年5月26日（水）10：00～16：45
（オンライン接続テスト9：00～9：45）

5. 研修内容

時間表を参照。

本研修は、部分的な受講はできません。全8講義を受講してください。

テキストは被ばく医療研修ポータルサイト（以下、ポータルサイトという。）よりダウンロードできます。（「入力操作の手引き」参照）

6. 受講料

無料。

ただし、オンライン研修に必要な通信費、機器等をご負担をお願いします。

7. 申込要領

申込期間 令和3年5月6日（木）～5月18日（火）

申込はポータルサイトより申し込んでください。（「入力操作の手引き」参照）
※ただし、ポータルサイトの緊急システムメンテナンス作業のため、5月14日は終日申込できませんのでご注意ください。

<https://retms.nirs.qst.go.jp/>



8. 受講決定通知

研修開始日までに所属長及び本人宛の結果をメールで通知します。

受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は受講決定を取り消す場合があります。

9. 修了証書

基準を満たした受講生には被ばく医療研修認定委員会より修了証書を発行します。

10. 問い合わせ先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

放射線医学研究所 被ばく医療部 被ばく医療研修課（量研 被ばく医療研修担当）

Tel： 043 (379) 7808

Fax： 043 (206) 4095

E-mail： hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

ポータルサイトのサイトポリシー（「入力操作の手引き」参照）

令和3年度 第1回 原子力災害医療基礎研修 時間表

令和3年5月26日(水)

時 間		講義タイトル
10:00 - 10:10	0:10	開講式
10:10 - 10:45	0:35	講義 1. 原子力防災体制
10:45 - 11:20	0:35	講義 2. 放射線の基礎
11:20 - 11:55	0:35	講義 3. 放射線の影響
11:55 - 13:30	1:35	昼食
13:30 - 14:05	0:35	講義 4. 放射線防護
14:05 - 14:40	0:35	講義 5. 汚染検査・除染
14:40 - 15:15	0:35	講義 6. 安定ヨウ素剤
15:15 - 15:25	0:10	休憩
15:25 - 16:00	0:35	講義 7. 避難退域時検査
16:00 - 16:35	0:35	講義 8. 避難と屋内退避の支援
16:35 - 16:45	0:10	閉講式

※ 時間割は調整される可能性があります。

9:00~9:45 に接続テスト時間を設けます。9:45 までに接続完了してください。

令和3年度 オンライン研修（基礎研修）

のご案内

－ Cisco Webex Meetings 接続マニュアル －

QST 量子生命・医学部門 放射線医学研究所

1. はじめに

Cisco Webex Meeting は、ネット会議システムの一つです。複数の人が同時に参加し、リアルタイムに顔を見ながら意見を述べ合うことができ、音声で発言することなしにチャットで伝えたり、決をとったりすることもできます。パソコンだけでなく、ネットにつながっているスマートフォンやタブレットがあれば、参加することができるメリットがあります。ここでは、その方法について、紹介します。

2. 要件

Webex Meetings に参加するために必要な要件があります。

まず、ネットに接続されたパソコン（あるいはスマートフォン・タブレット）を用意します。画面を見て音声を聞くだけでしたら、カメラとマイクは不要です。しかし、通常は顔を写し、音声のやりとりをすることで参加確認をすることも多いので、カメラ機能とマイク機能を有したパソコン等の用意をお願いいたします。また、Meeting をスムーズに視聴するために、ある程度の通信速度を持ったネット接続（有線か Wi-Fi）が必要です。

3. 参加までの手順

主催者が招待メールを研修生へ送信します。

研修生は招待メールから Webex Meetings に参加します。

Webex Meetings に最初に参加する場合、自動的に Webex のアプリケーションのダウンロードが行われ、表示される指示に従って進めていくと、参加することができます。

次回以降アプリを起動すると、「ミーティング情報」の入力が求められますので、メールに記載されたミーティング番号（アクセスコード）及びミーティングパスワードを入力して、招待された会議に参加することもできます。

(1) Webex Meetings 動作環境のテストについて

1. 以下の URL よりいつでもテストできます。名前と Email アドレスを入力してお試しください。

<https://www.webex.com/ja/test-meeting.html>

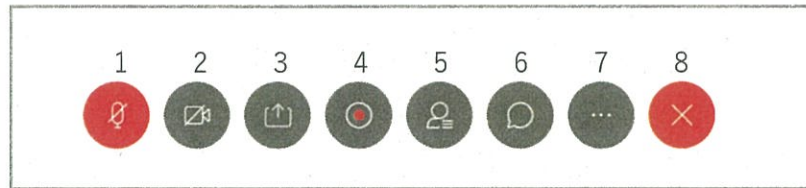
2. スタッフ対応の接続テスト日（5月21日（金）13:30～17:00）をもうけています。参加希望の方は希望時間を Email (hibaku-training@qst.go.jp) でご連絡ください。接続テストの招待メールを送ります。

(2) 研修当日

「Webex Meetings」へのご招待メールを前日までにお送りします。

4. 参加中

参加すると、Webex Meetings の画面が現れます。画面下に、参加者の操作可能なアイコンが表示されます。消えても、マウスのカーソルをその位置に持っていくと、再び現れます。



1. ミュート

ミュート（音声オフ）にすることができます。赤色は、音声がオフになっていることを示しています。マウスを持っていくと、「ミュート解除」の文字が表示されます。クリックすると、黒色になって「ミュート解除」の状態になります。

※研修では、原則ミュートにしておいてください。

※主催者側は、参加者の音声をオンオフする権限があります。あらかじめ音声をオフにしておいて、講師から発言が求められた時、あるいは発言を求めて許可を得たときにオンにします。

2. ビデオ

ビデオ（映像）のオンオフの切り替えができます。研修では、講師がいつでも受講生の顔を確認できるように、原則オンにしておいてください。

3. コンテンツを共有

PowerPoint スライドなど、PC のデスクトップ上のウィンドウのコンテンツを共有することができます。クリックすると、自分のデスクトップで開いているウィンドウが示されます。それらの内の一つを選ぶと、その画面が参加者全員の画面に映し出されます。研修の際は、講師が、ご自分の、あるいは研修棟のパソコンで、スライドファイルのウィンドウを選んで表示させて講義を行います。研修で受講生が使うことはありません。

4. レコーダー

会議を記録することができますが、研修では受講生は使いません。

5. 参加者

参加者一覧が画面の右側に表示されます。

6. チャット

コメントを全員に対して、あるいは参加者を選んで、文字で伝えることができます。研修では、受講生が質問をする際に用います。

7. 他のオプション

その他の機能が表示され選択できます。

8. ミーティングから退出

会議から退出できます。

5. 研修における注意点

当研修では、次の点に注意してください。

(1) ハードウェア

出席の確認のため、講義開始前、映像と音声で出席確認を行います（映像と音声の確認による接続状況の確認の意味もあります）。そのため、カメラとマイクのついたパソコンかスマートフォンあるいはタブレットを用意してください。長時間、ネットに接続した状態になります。モバイル機器の充電残量に気を付けてください。ネット接続にかかる費用は自己負担になります。

(2) サインイン

参加の確認を行いますので、開講式開始 15 分前までに会議に入ってください。各講義の前に出欠を取ります。参加者の顔をスクリーンショットに撮ることもあります。

出席確認のため氏名を明記してください。アプリを起動すると、上に名前とメールアドレスが表示されます。その右にある鉛筆マークをクリックすると、編集可能になります。



(3) 講義中

講義中は、音声をミュートにしておいてください。ご自分の映像はオフにしておいた方がネット接続は安定します。講義中の質問は、音声ではなく、チャット機能で行ってください。講義が終わった後の質疑については、各講師の指示に従ってください。講義の録画・録音は禁止します（通常開催の研修と同様です）。休憩時間中は、サインインした状態のままにしてください。

6. 使い方ガイド

使い方の参考になる情報が、次の URL にあります。参加前にアクセスし、内容を確認しておいてください。

https://www.cisco.com/c/dam/global/ja_jp/products/collateral/conferencing/webex-meetings/dekiru-webex-meetings.pdf

【連絡先】 〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所

電話：043-379-7808 E-mail：hibaku-training@qst.go.jp